

2005年東京中小企業家同友会大田支部

総会報告

今年も、第24回大田支部総会が大田区産業プラザPIOにて開催されました。

西野善雄大田区長はじめ大田区役所、(財)大田区産業振興協会、(社)大田区工業連合会、東京商工会議所、立正大学、都立高専、専修大学、東京同友会より錚々たるご来賓にお越しいただき、大田支部の活動や今後の展望について報告ならびにお言葉をいただきました。また、北海道同友会の(株)アイワードの木野口功社長を向かえ、記念講演も開催されました。



内海新支部長と
内海体制を支える副支部長達



司会予行練習中。左から佐々木氏、
高田氏、庄子(新)妻

大勢の来賓をお招きして
第24回総会が開催された



トイレ掃除から始めて再建をはたしたという(株)アイワード木野口社長



東京中小企業家同友会
後藤代表理事よりお祝辞を
頂戴しました

報告者●(株)テクノマート
代表取締役 星野誠
毎年4月と5月は、〇〇総会や□□総会のスケジュールがタイトで、まじめな私はそういう会合には欠かさず出席するようにしています。しかしながら、連日そのような会合に出席していると、当然のように懇親会も出席することになり、そうするとまた自然と2

次会3次会も出席となり、全行程を終えて、泳ぐような姿勢でふらふらと自宅に戻ると、午前3時すぎというような生活が続くものですから、私に限って言えば、総会への出席を継続するためには、総会の議事進行中に十分な睡眠をとるのが最良の手段であることに気づいたのでした。さて、そんな総会シーズンが今年もやってきます。

東京中小企業家同友会大田支部の総会は土曜日に開催され、丁度毎日私が午後の安らかなひとときを過ごす時間と重なっていたこともあり「コンベンションルームの椅子はウチの会社の椅子より上等だからいつもより快適な時間を過ごせるな」と思ったりもしていました。

しかし、今年「副議長」という不相応な大役を仰せつかってしまいました。なんとというプレッシャーでしょう。眠気も吹き飛びました。膝もガクツとなりました。

劣等生であった私は学級会の副議長すらやったことがありませんから。残念。気を取り直して、予習のために議案書を検討してみると、壇上で発言するのは、肴の会の仲間がほとんどではないですか。

なんとということだ。

私は今までの自分を振り返り恥ずかしく思いました。午後の安らかなひとときを過ごすという責任を果たすため奮闘するのではないかな。

例会委員長中西氏は、気合いの入った掛け声大森ブロック候補を応援し、見事、新支部長内海氏を濱口賞受賞へ導いた。

会勢拡大委員長高倉氏は濱口賞候補者、

選任されたばかりの
新支部長内海氏



副支部長河津文三氏をネタに笑いをとった。

21研委員長荒井氏は欠席した我が広報委員長の分も発表した。

石川英嗣氏はフランスの大統領からメッセージが届いた。にもかかわらず、陳さんの店の餃子のエビは1つのままだった。

仲間達の歯切れのいい発言を高い席から拝聴していると、「総会にはこのような魅力もあったか。そうかいそうかい」と新たな発見をし、爽快な気分になりました。

来年も議事を拝聴するために総会に出よう！とサングラスを片手にフラフラ歩きながら思いました。

「出席いただいた来賓の方々」

西野善雄●大田区長／平野壽●大田区産業経済部部長／萩原日出男●大田区産業振興協会専務理事／山田伸顕●(財)大田区産業振興協会専務理事／内田信義●(社)大田区工業連合会事務局長／田中常雅●東京商工会議所大田支部会長／黒瀬直宏●専修大学教授／中村祐二●東京都立工業高等専門学校交流センター長／横山幸永●立正大学経済学部部長／五味久壽●立正大学経済学部教授／林康史●立正大学経済学部教授／秦野真●立正大学経営学部教授／佐藤一義●立正大学経営学部教授／後藤せき子●東京中小企業家同友会代表理事／池田大子●品川支部支部長／大田辰雄●目黒支部現支部長／藤原照久●目黒支部副支部長／黒澤利子●世田谷支部現副支部長



踊る踊る！くすのき連
踊る踊る！大田支部

2005年度 スローガン 「みんなでやろう 同友会、 世代をつなぐ ネットワーク」



東京中小企業家同友会
大田支部 支部長
内海節子

「大田の皆様へ」ではじまるローカルニュースでお馴染み「京浜陽気なウツミ」です。

この度、大田支部25期7代目支部長をお引き受けしました。東京同友会全都一の会勢を誇る注目的大田支部で、しかも初の女性（一応？）支部長だそうです。実のところ、恐れを知らない私でも「うん！」と引き受けるまで、かなりのプレッシャーと迷いと責任の重さに歴代支部長や各方面の方々に迷惑、ご心配をおかけしたことも事実です。そして、ご意見拝聴した中で私が支部長になることに、大田支部の行く末を案じて「みーんな反対！」だったことも事実であります。

それでも、一泊幹事会や総会で活動方針、スローガン等、今後の大田支部の行方を真剣に討議していただき、みんなが大田支部を愛し、みんなに助けていただけたのだ！と感じたとき「よし！」と決めました。「一度やると決めたからには、全力投球する」の初代濱口支部長の言葉を胸に、偉そうのことは言えないローカルだけど、一生懸命だけが取り柄、情熱を持って臨みたいと思っております。みんなの大田支部、みんなのため、自分自身の成長のため、「み

んなでやろう同友会、世代をつなぐネットワーク」あなたが主役の同友会になるよう元氣印支部活動でありたいと願っています。皆様の絶大な応援と協力お願いいたします。

以下、2005年度活動方針

2005年度の大田支部スローガンが先般の一泊幹事会において、一連の討議を経て決まりました。本年度はこのスローガンに沿って菅沼前支部長からの方針を引き継ぎつつ、より活性化させる大田支部運営を行いたいと考えております。そのためには全会員の知恵と力が最大要素であり、前年度に引き続き皆様の力強い応援と協力をお願いする次第です。

スローガン決定の背景には、世の中全体が団塊の世代から世代交代時期に達していることを認識し、大田支部活動も同様に、次世代へよりよい形でのバトンタッチと、時代に先駆けたあらゆる世代の融合のあり方を大田支部から発信すべく「みんなでやろう同友会、世代をつなぐネットワーク」に決定しました。

今日の厳しい経営環境の中、同友会の活

動は基本的な理念である3つの目的「よい会社をつくらう、すぐれた経営者をめざそう、よりよい経営環境をつくらう」の下に多くの会員企業が高い志を持ち、手を携え前向きに行動し、学びを活かし、自社の経営課題を解決すべく努力をすることで中小企業の社会的地位向上に、重要な役割を担っています。

今、同友会が取り組んでいる「中小企業憲章」は中小企業経営と企業家精神のための最良の環境が創造される必要があると説くヨーロッパ小企業憲章に意を發し、中小企業の振興は経済の発展に欠かせざるものであるという認識から出發しています。その育成のために、手厚い対策を考える手段として「中小企業振興基本条例の制定」に同友会が取り組むということは、地域産業振興を担う中小企業の役割は大きく、同友会理念の「国民や地域と共に歩む中小企業の実践」であり、私たち自らが「基本条例」の制定に参加を呼びかけ政策、施策のプロセスに積極的に係ることが、地域での同友会の存在感を示すことにつながります。そして、中小企業の集約地である大田支部においては、会員相互の協力、努力により同友会発展のみならず、大田区の産業振興と、地域社会への貢献に多大な影響を及ぼし、自社の経営課題に全力を以て取り組む姿勢は、本来の経営者の真のあるべき姿といえます。

近年、まだまだ経済低迷が続く時代であり何を目標に定めて活動すればよいだろうか？と議論される中、本年度の大田支部では「時代の変化に応じた経営課題の克服」を方向性とし、万事基本に立ち返り、基本理念に忠実なる指針を定めながら、全会員に対する情報の発信に務め、更なる飛躍を目指して組織の内部充実を第一の方針に掲げたい。また、前年度から打ち出している世代交代は、多くの若手経営者の台頭を得、一定の成果が認められています。しかしながら会勢拡大に伴い世代間の広がりと共にあらゆるニーズを吸収できていないのは事

実であり、その価値観の多様化に伴う制度疲労等の新たな問題点が出てきたことも否めません。

この現状を踏まえた上で、前年度からの方針を引き継ぐと共に世代間ギャップをどのように埋めていくかを課題とし、第二の方針として世代間の融合を目的に活動を進めていこうと考えております。更に必要なことは、幹事会が責任を持ってそれらの活動を支援し、新しい芽を育てるべく努力をすることです。その位置づけとしては、基本が例会であるということも忘れてはなりません。例会は全会員の学びの場であると同様、グループ討論、懇親会を通して会員相互の交流の場として、あらゆるニーズに因應するため、様々な角度から創りあげていくことが望ましく既成概念にとらわれず、担当の個性を発揮し基本を把握した上でのユニークな例会を創りあげたい。

個々の委員会、研究会は自己の啓発に努め、時代のニーズに見合った活動を心がけ、お互いが研鑽しあい強靱なネットワーク作りをする事により、情報発信の先駆けとして地域社会に発信し、且つ又他団体、他支部との交流、産学官との連携を計る活動でありたいと願っております。それらを実行するにあたり正副支部長会、幹事会の役割は大きく、その活性化は最重要課題のひとつといえます。幹事会は諸事項を決定するにあたり、会の原理原則に則った会議進行のあり方を考え、充分な議論と的確な判断を必要としています。様々な意見交換をする上でも幹事意識の定着と自覚を持ち、会員に積極的な参加を呼びかけ、組織力の強化を図りたいと考えています。

2005年度大田支部は、上記に掲げた事項を念頭に置き、会員の活動意識の向上に努め、他団体に類を見ない強靱、且つ勢いのある元氣な支部活動を展開してゆきたいと考えます。会員皆様におかれましては、何卒諸事ご協力の程よろしくお願い申し上げます。まして方針いたします。

大田支部支部長を体験して



(株)三和デンタル
代表取締役
菅沼佳一郎

長い様で、あつという間の事だった様な、不思議な気持ちがありました。

遠い昔、高校生の時も、先輩の生徒会長や先生方が、嫌がる私を無理やり生徒会長に・・・

そして、生徒には評判が良かったようだが、先生にはやたらと評判が悪い生徒会長だった。

その時の悪夢がよみがえってきて、嫌な予感を感じたものです。

大田支部支部長をやる時も、ドタバタ劇でもう総会が迫っている直前に、私にやらないかということに当然断りましたが、総会目の前でみんなに説得されて、私を選んだら後悔するよと言いながら、渋々引き受けたのが始まりでした。

組織というものを考えた事も経験した事もなく、私は支部長として闇雲に出発したものでした。

自分の中で、何をどうしていいかわからないなかで、副支部長人事を行い船出をしたのですが、幹事会は人が集まらなくなっていたので、活性化といっても運営も大変な状況で、副支部長の皆さんには、迷惑をかけた上に、奈落のそこに落ちていくように寂れていった事を思い出します。

そんな中で、幹事の皆さんは全員を、

一軒ずつ訪問して、幹事の大結集会を開いたり、いろんな事をやりましたが、なかなか活性化していかない難しい舵取りでありました。

しかし、支部長として自分の役割は、世代交代とはつきり決め、幹事会の反対を押し切って、2年目の一泊拡大幹事会に、若手を半ば強引に参加させたことで方針がはつきり決まりました。

この反対された時に、支部長で学んだことのひとつが、批判は正しいがその中身は意味がないという事と、批判と建設的な意見の違いが分かった。

人を批判するという事は、井戸端会議と同じで意味がないが、支部長とはそういう立場にあるということも経験しました。

1年目も世代交代を色々やりましたが、それを受けて立つような男気とリーダーシップを持つような人が出てこなかったこともありました。きっかけは、(株)ハーツの山口さんと釣りに何度か行き、車の中で大田支部にはいい若者がたくさんいるが、纏めてみる気はないかと何度か話したところ、やってみようかなという返事、そして一泊幹事会の人集めや、石井誠二さんの影響で、若者は帝王学を学ぶように言われ、肴の会を発足させたような気がしました。

これが世代交代のきっかけになりました。

3年目には副支部長人事で、若手を中心に12名選任し、若手を前面に出して、次代を担う幹事を育成し、次期支部長もドタバタは絶対しないで、引継ぎや自分が方針をしっかりと立てられるように、そして私の後の支部長が、大田支部が活性化していけるようにと方針をはつきり決めました。

とにかく、社長の集まりですから、一筋縄ではいかない人たちがばかりです。

屁理屈を言っても、自分の考えを通したり、回りくどい話をしていけると、一刀両断されるので、纏め上げるのは大変!!!纏める事はやめた方が、かえって上手くいくかもしれない。

でも凄いの、何かを決めて取り組む時は、一筋縄に行かない人たちが、細かい打ち合わせもしないのに、役割をわきまえて運動会を成功させたり、納涼会をやったりこんな社員がいたら、会社の発展は際限なく出来るのではないかと思うような素晴らしい仲間でもあります。

思い出したらきりがなくありますが、一筋縄ではない人たちのトップを経験できた事は、私のようなバランス感覚のない人間には、計り知れない経験になりました。

若手の台頭で、ベテラン会員も引いた事もありましたが、新旧のバランスは無視し、自分の役割を忘れないように、若手が本当に素晴らしい仲間を見つけて、同友会の良さを実感して、大田支部に素晴らしい仲間が出来る良い会である事を、世の中に発信してくれる事を念じていました。

お蔭様で、若手とベテランの壁が出来、私を支部長にした為の後悔が発生したものだと思えます。

次期支部長も、内海節子さんと言うパワフルで、気遣いがあり、バランス感覚が抜群の人が、早めに決まり私は安心しました。

4年2期の任期が終わる12月ごろから、丁度会社が海外ビジネスを立ち上げ一番きつい時期であり、投資もかなりしており、資金繰りがピンチになってきた為に、最後の方は内海さんが取り仕切っていたのが事実で、最後まできちんと全うしていただく事事もここで告白させていただきます。

内海さん有難うございました。

そんなこんなで色々ありましたが、やってよかったかどうかと言うと、やってみて本当に良かったと思います。

同友会に入ったころは、経営理念も就業規則もなかったのですが、勉強する機会を与えられ、人との出会いで、親しくしてくださる方もたくさん出来て人脈が広がり、又経営者としてのライバル意識も芽生え、刺激を受けて今日までやってきました。

支部長経験は、これに加えて更に学びました。

一筋縄ではない人々が意見を言うので、難しい場面がヒッキリ無し、何とかしなくてはと、これでも一生懸命考えたものです。

菅沼が支部長経験して、最近変わったといわれることがあります。

きっとこの4年で、何かを学んだと思います。この何かは、どうやっても言葉で表現できません。

大田支部の皆様、同友会でいろんな役もありますが、支部長は絶対やるべきです!!!!!!

書き出しは、本音でいやった時の事を書きましたが、今は感謝しております。

2期4年、皆様のお世話になりながら、終える事が出来ました。本当に有難うございます。

良い仲間としてこれからもお付き合いのほど、宜しくお願いいたします。

新任・継続ブロック長紹介

アイランド
ブロック矢野口自工(株)
代表取締役
矢野口智一

アイランドブロックは主に埋立地域を中心としたブロックで、製造業22名・その他9名の会員数31名(29社)。工業団地ですから企業数が増える事は期待できませんが、近年撤退される企業の跡地に物流業や産廃業が進出して来る事が多いようです。内陸部での事業運営が益々難しくなっている事が原因で、都内で安心して事業運営が出来る貴重な地域とも言えます。工業団地と聞くと汚いイメージがあるかも知れませんが公園

も多く、キャンプ場や人口の砂浜などもあり、天然のアサリも採れ蟹採りも楽しいです。都会で思いがけない自然に触れる事が出来ます。最近、スケボーランプ場もオープンし来年はドックランも完成します。皆様の会社では休み時間に「砂浜に座って海を走る船舶を見ながらお弁当を食べる事は出来ますか？」アイランドブロックの会員さんは、このような環境の中で仕事をしています。是非、アイランドへの進出をご検討ください。

大森
ブロック(株)テクノマート
代表取締役
星野誠

星野でございます。いつもお世話になっております。なぜ私が大森ブロック長として選任されたのか未だ理解できないでおります。しかしながら選任されたからには、大森ブロックの為に粉骨砕身働きますのでどうぞ宜しくお願いします。私をご存じない方のために自

己紹介。趣味は日帰りバス旅行です。好きな食べ物は唐辛子味噌と酢です。好きな飲物はハーブティと酢です。きゅうり、柿が嫌い。飲酒時の名は猫田。座右の銘「継続は力」。心の四字熟語「尽忠報国」。ブロック長になってからの気持ち「暗中模索」。

エアポート
ブロック(有)華豊
代表取締役
陳玉芳

糀谷「珍味楼」、蒲田「来富市場」を経営している陳です。母として3人の子供を育て、妻として貿易会社を営んでいる夫を手伝っています。家族も会社も、私にとってはかけがいのない宝物です。日本では同時に二つのことをすることを二足のわらじを履くというのですが、私は三足のわらじを履いて精一杯頑張っております。慣れない異国で10年、言葉も習慣も不慣れな私たちを、大田区の皆さんはずっと支えて下さいました。日本での地盤も教育もない私ですので、皆様に貢献できるのは、おいしい料理と居心地の良いサービスを提供することだけです。こ

れが私の天職と信じ、これからも頑張っていきたいと思います。これから夏に向けて、パリッとした食感が新鮮なくらげのアタマの冷製など、常に旬の素材を活かした季節感溢れるメニューを心がけています。常連さまも初めてのお客さまも、心からくつろいで頂けるよう、くふうを重ねています。不景気といわれて久しいですが、こんな世の中だからこそ、おいしい料理と楽しいお酒で皆様に元気になって頂きたいです。若輩者で僭越ですが、ブロック長として少しでも皆様のお役に立てればと思います。お力添えのほど、よろしくお願い致します。

リバーサイド
ブロック三笠総合保険
佐々木正勝

大田支部の皆様、こんにちは、お世話になります。他の2ブロックのブロック長が新しくなる中で、小生は、まさに9.11の直後頃から何故か外様でブロック長に着任し、4年を超えようとしております。組織の活性化を勧告致しますと、非常に由々しき問題かと思われれますが、相も変わらず、成り行きで続投となりました。まあ、いいのか悪いのか解りませんが、正直なところ小生も、ブロック長、

21研、本部政策部など等と、需要のまに動いております故、ちょっと活動が重たくなって居るようになって感じております。大田支部の永年の懸案であります、組織体制の見直しを原点に戻って考え直す時期とも思料致します。しかし乍、小生も応分に責務を果たそうと存じておりますので、ご協力の程、今後とも宜しくお願いします。末筆ながら、皆様の益々のご発展を祈念致します。

私の

転機

安楽座
荒木秀樹
(リバーサイドブロック)

学 生時代、父の映画館を手伝っていました。それは、ボルノ映画館の今は無き安楽座。映画をし、切符を切り、甲板を書き、ビラをはり、土曜日はオールナイトとつらい日の連続でした。そして就職の時が来て、普通にある企業から内定をもらいました。その時、私の父に「なぜ人の家で働く。同じ働くなら自分の家で働け」といわれ、なるほどと思ひ、父の後を継ぎました。それでもいつかは議員になるその夢を胸に秘める毎日でした。それから約二十年、時が来て、区議会議員として立候補する事ができましたが、始めは徒手空拳。当然のごとく落選しました。しかし、その時、大きな財産を手に入れることが出来ました。今でもそれは、私にとっての宝です。私を信じてくれた素晴らしい友人、恩を受けることのありがたさを心の底から感じる事が出来ました。千三百十八名の方が私に票を投じて下さいました。今でもその方々への御恩は忘れたことはありません。

それ以来私の座右の銘は、「受けた恩を右にきざむ」です。そして選挙期間中に忘れられないがありました。それは最終日の前日の午後三時頃に起こりました。突然その人は現われ「おれと同じ選挙をしているな」と言いながら、私と一緒に歩いて、私の名を連呼して下さいました。その間約二十分。初日から歩き続けていた私の足はマメだらけで、疲労はピークに達しており、立っているのがやっとという状態でした。その人が誰なのかわかったとたん、感動で涙が止まりませんでした。その人は背が高く、自信に満ちていました。別れ際に「選挙が終わったらおれの所へ来い」と言って去って行きました。当然結果は落選。父には「おまえのおかげで町で歩けなくなつた」と言われ、失意のどん底の私は、それでも、その日から支持者の方々へ一軒一軒落選したお詫びをして回りました。このことがその後の私にとって一番の勉強になったと思います。そしてなにげなくその人の事務所に行きました。「たった一人で千三百十八票か。ビリから三番目とは、たいしたものだ」と、笑顔で言ってくれました。そして「落つこちた今が一番大切な時だから頑張れ」と。それを聞いた私は、頭の中が真白になり気が付いたら、その人の机に両手を付き「新井将敬先生、私を弟子にして下さい！」と大声を上げていました。まさに、その一言が私にとっての転機です。

私

共の会社は主に、メーカーの販売促進の企画提案、ツールの制作を行っております。もともとカネボウ様を主な取引先として、社内用の解説書、計画書、企画書等の印刷を受注している印刷会社でした。私は大手印刷会社のサラリーマン時代、販促品の企画、デザイン制作、印刷製造などに携わっていました。当時はバブル崩壊後で景気が急速に後退。デジタル化が進み作業が簡単になったことで、競争も激しくなっていました。そこで私は現会社に入り、価格競争だけでは無い販促の企画提案、ツールのデザイン制作という、より付加価値のある分野へ力を集中して行くことにいたしました。人間力が物をいう、ハードだけでは無くソフトの分野であれば勝負できると思いました。私共の会社はコピーのような白黒の印刷物を作っているだけでしたので、ソフトは何もありませんでしたが、デザイナーを採用

今

から7年前ダイエットの目的でジョギングを始めました。最初は、近所の公園1周1kmを2〜3周まわるのがやっとでした。2年経ち、10km走り続けることができた頃、各地で行われるランニング大会に出るようになりました。それを通じてランニングクラブに参加し、ハーフマラソンをして目標であったフルマラソンを完走できるまでになるとすっかりランニングにはまっていました。タイムを短縮しようと練習を重ね、サブスリー（フルマラソンを3時間以上で走破する）に到達できるまでになりました。その頃は毎朝晩10km、休日は30〜40km走、インターバル走（スピードをあげる練習）と1日のかなりをランニングに費やす日も少なくなかったのです。しかしそれがたり、一昨年11月頃39度の高熱が続き、まるまる1カ月寝込んでしまい、その間会社の人間やお客様、いろいろ

し、過去自分が一緒に仕事をしてきたスタッフにも協力してもらい、徐々にではあります、付加価値分野での仕事が増えてきております。

販促のことを業界ではセールスプロモーション（SP）と言いますが、日本にはまだSPの専門会社が無いと聞きました。本当かどうかまだ分かりませんがアメリカにはあると言う事を聞いております。今年は少し調べて事実であればアメリカまで行って見てみようと思っています。そして日本で初めてのSP専門会社を作りたい。それが私の挑戦です。



(株)ユニオンプリント
代表取締役
高田 久志
(大森ブロック)



猪鼻織維工業(株)
専務取締役
山口 嘉樹
(大森ブロック)

な人に迷惑をかけてしまいました。そもそもランニングは健康維持を目的として始めたものにも拘らず、逆にそれを害しては本末転倒。今は目標を換え、100km完走に挑戦したいと思っています。俗にウルトラマラソンといってフルマラソン以上の超長距離をタイムに縛られることなくゆつくりと完走を目指すというものです。練習は以前の様な追い込みを必要としないので、体を壊さない程度に挑んでいこうと思います。

私の挑戦 '05

私

の人生は常に『挑戦』の連続です。20代は建設資材メーカーで営業マンとして勤務し、朝から晩まで馬車馬のごとく働いておりました。そのころは、人の倍、いや十倍もの仕事をこなすことが、自分への挑戦だと思っていました。第一転機が訪れたのは30代半ば。ある恩師との繋がり、宇都宮に除菌剤販売の会社（現在のスマイル・ライフ・クリエーションの前身）を設立。順調に売上を伸ばし、この勢いに乗じ東京に進出。40代半ばに第2の転機が待っていました。知り合いを通じて、求人誌の出版話が舞い込んできたのです。それが現在の会社との出会いです。そして除菌剤販売会社と出版会社(株)トーホー書院との

二足のわらじを履きながら、さらなる『挑戦』の始まりです。この業界の右も左も分からないまま

挑

戦、文字通り戦いに挑むことと解釈すれば、私にはこれまであまりない挑戦をした記憶がない。病弱のため大事に育てられた私は、多少の反抗期はありながらも、親に心配をかけないように努め、結局はレールに乗ってすごしてきたように思う。その間、言うに言われぬ苦勞も多々あったが、その都度どうやって乗り越えようかと、もがき、苦しみ努力して行くうちにいつしか通り過ぎていた。時には、偉い先生方の体験談や苦勞話を聞いたたり読んだりしては、その生き方に共感して困難を乗り越えるヒントを得たり自分を叱咤激励することもありました。また、自分より不幸な人の話を聞いては、今ある自分を幸福に思い反省したりしたこともありました。様々な人の人生を知ることから、



(株)スマイル・ライフ・クリエーション
代表取締役社長
庄 守
(リバーサイドブロック)



(株)京浜工業所
代表取締役
内田 由美子
(大森ブロック)

生きる力と知恵と勇気を頂きながら、次々に立ち塞がる問題を、その時その場で最善と思われする方法で対処してきたと思う。今思えばその一つ一つが小さな挑戦だと言えるのかもしれない。人生は小さな、時々大きな挑戦への成功と失敗の積み重ねなのだろう。これからはもっと意識して前向きにいろいろな挑戦していこう。子供や社員には、「……に挑戦！」といっているのだから取り敢えず私個人的には同友会の会員にふさわしい社長になることとダイエットに、会社ではISO9001の取得に挑戦！よろしくご指導の程お願い申し上げます。

新 会 員 紹 介

会員名簿にのっていない人がいたら、
名簿のうしろの空欄に
切り取ってお貼りください。



業種 ①戦略MG教材の開発、販売及び研修事業
②適性能力診断テストの開発、販売事業
会社 2名 代表取締役
〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-10
東洋ビル5F
TEL: 03-3231-3835 FAX: 03-3231-3835
e-mail: ccl@networkmg.jp
URL: http://www.networkmg.jp
趣味 旅行
所属 リバーサイド
推薦者 石井誠二

小林 静史
43437 H17.4 (入会)



業種 コンサルティング及び貿易業。
中国の民間企業の情報収集、
技術者の提携及び日本での投資相談等
会社 12名 代表取締役社長
〒116-0014
東京都荒川区東日暮里6-58-10 701号
TEL: 03-5604-2858 FAX: 03-5604-2859
e-mail: tyo_sino@co-trip.com
趣味 仕事
所属 大森
推薦者 同友会事務局

江 紅
43098 H16.3 (入会)



業種 一般建設塗装業
会社 代表取締役
〒143-0013 東京都大田区大森南1-18-14
TEL: 03-5736-9331 FAX: 03-5736-9332
e-mail: nomura@marryandstar
所属 大森
推薦者 石井誠二

上田 進
43488 H17.6 (入会)



業種 塗装及びシルク印刷(金属焼付、
プラスチックがメイン) 1ヶ所OK。
短納期対応も。
会社 代表取締役社長
〒146-0083 東京都大田区千鳥2-27-10
TEL: 03-3759-5760 FAX: 03-3759-5759
趣味 バイク、車、マージャン
所属 リバーサイド
推薦者 板垣周一

板垣 竜介
43474 H17.5 (入会)



業種 経営コンサルタント業。
財務を中心として企業へのアドバイザー、
日本と中国で事業展開をしています。
会社 3名 代表取締役
〒144-0047 東京都大田区萩中2-4-3
大田サンハイツ306
TEL: 03-5735-0911 FAX: 03-5735-0912
e-mail: f-wakita@sunny.ocn.ne.jp
趣味 読書、スポーツ鑑賞
所属 エアポート
推薦者 矢野口智一

協田 文彦
43461 H17.5 (入会)

編集往来

「アウトドアのすすめ」

最近我が家のレジャーと言ったら、もっぱらキャンプです。初めは道具を揃えるのにお金がかかるが一通り揃えば一回一回はとても安価なレジャーだ。子供の幼稚園の時のお友達の数家族と一緒に出かけるので、大体のものは揃ってしまふ。

出かける前に打ち合わせをして各家族が食事に何を作るか決めておけば1家族あたり1品か2品作るだけで結構バリエーションに富んだメニューが出来上がります。

我が家ではメニューを考えるのも作るのもオヤジの役目です。よその家族(特に奥さん)の手前毎度同じような料

(幹事会報告) 2005.7.5

□司会: 高崎 明美氏・久米 正資氏

□参加者: 内海氏、高崎氏、久米氏、田野氏、田中基茂氏、石川英嗣氏、小國氏、湯本氏、大河内氏、菅沼氏、佐藤仁氏、井上氏、荒井氏、大橋氏、島村亮氏、佃浩之氏、河原氏(14研実行委員長・豊島支部長)、鈴木善彦氏、中西氏、平間氏、陳氏

1. 報告事項

●行事報告

○拡大理事会(6/14)

後藤代表理事の方針～自分の業界の事を考えながら学ぼう。

○支部長一泊研修(6/25-26)

参加24支部中、大田支部がベストビジョンに選ばれた。

□会員数報告 2005. 6/7～7/4

現在252名

○入会 2名

上田 進氏 (術城南塗装店) 6/16

紹介者: 石井 誠二氏

内田 亨氏 (株)京浜工業所 6/22

紹介者: 内田 由美子氏

○退会 3名

泉 卓氏 富士熱練工業(株) 6/16

理由: 経費削減

八木 隆行氏 (株)日典 6/16

理由: 時間がとれず、期待はずれ・メリット無し

吉田 達也氏 和味焼肉 うしすけ

6/16 理由: 時間がとれず

□ブロック・委員会活動報告

○エアポートブロック活動報告(新ブロック長: 陳氏) 今後は2ヶ月に1回開催。

□ミニレクチャー: 『決定・決算公告』

国立印刷局 主任専門官 小泉 一男氏、情報製品事業部 田島 康義氏

決算公告は法令によって掲載が義務づけられており罰則規定もあるが今開示している企業は1割。

2. 討議事項

●支部6月例会(6/16) 参加者60名

『不屈の精神が映し出す新しい中国への道』

講師: 菅沼 佳一郎氏 (株)三和デンタル

○総括: ハングリーさの原点を見た。講師への連絡不十分など情報伝達問題。

□例会の進捗状況報告・企画検討

①11月例会(立正大学・品川支部と共催)

②10月例会 10/29 (第14回経営研究集会)

③9月例会 9/14 (南部協議会合同)

④8月例会 8/23 (大森ブロック) 品川プリンスホテル・ななかまど

□第14回東京経営研究集会

○支部分科会担当

・第4分科会: 仕事は常に改良し科学するもの

・第12分科会: 地域産業の支援・育成事業から『文化としての産業』創りへ[担当実行委員に佃浩之氏選任]

・実行委員会報告(6/15)

河原氏: 立教大学と共催。記念講演はダイエーの林文子氏。大田支部で早割チケット50枚予約

□南部協議会合同例会

①打合せ報告(7/4) [講師定: 小野田寛郎氏]

②会員訪問計画 [動員を兼ね、休眠会員を訪問]

③4支部対抗ゴルフ大会 [10月予定]

□第16回東京経営研究集会(南部協担当・立正大学)

□立正大学院経営学研究科連携依頼

□OTAふれあいフェスタ

□都立高専交流部会

○中小企業家経営塾基本テーマ: 9月21日に経営塾開催。大々的にPR。

○中小企業家経営塾塾長 [初代塾長: 笠井氏退任 新塾長: 内田 亨氏拍手で承認]

○OTAふれあいフェスタでの関わり [区へ会場の問題]

○都立高専祭 [次回幹事会で方向性を提案]

□次回幹事会

8月2日(火) 午後6時30分

PIO B会議室

理は作れないのでメニューを考えるのが一苦労。インターネットでアウトドア料理のレシピを検索して自宅で試作してうまくできたら採用です。自然の中でみんなでワイワイとする食事はやはり最高だ。

子供たちは近くの川や林で蛙や虫を捕まえたり、野球をしたりといきいきとしている。

何よりも奥様たちが食事の用意をしないでベチャくちやとだべっていられるのが最高の家族サービスかも知れない。

昨年のGWには西丹沢に出かけたところ3日間すべて大雨にたたられ何もできない上に撤収に一苦労したが、今年には幸い天気にも恵まれアウトドアを堪能できました。千葉の勝浦に行ったのですが、GWにもかかわらず大した渋

滞にも会わず千葉方面は結構ねらい目であることを発見しました。

夏休みにも千葉方面に行こうかと計画しています。GWに行ったときは釣りをしたのですがさっぱりでしたのでリベンジするか浜で遊ぶか、今から楽しみです。

そういうえば数年前に、興和運輸の今井社長に「子供が小さいうちはキャンプがいいよ」と言われたのを思い出す。それを真に受けすっかりキャンプにはまってしまう。

コストが安いのも、はまった理由のひとつです。個人的にはレジャーとしてはキャンプで満足しているのですが、いつまで子供たちをごまかせるのかちよっと心配です。

ソニー生命保険(株) 荒井守
(大森ブロック)